

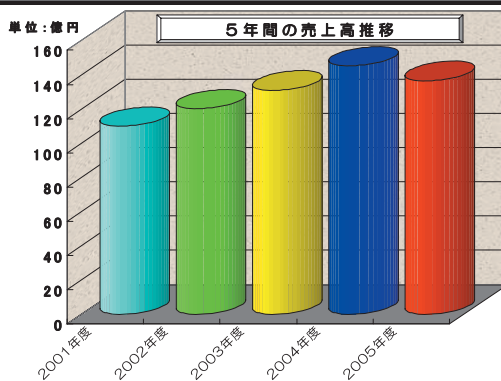


環境レポート

# 環境のあゆみ 2006

# 会社概要

創 業 昭和33年12月6日  
 設 立 昭和36年9月20日  
 資 本 金 9,850万円  
 従業員数 315名(2006年4月1日現在/グループ全体)  
 事業内容 コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、  
 および洋生菓子等の食品製造販売  
 関連会社 株式会社メロディアンメンテ  
 株式会社メロディアンハーモニーファイン



## 沿 革

- 昭和33年12月 大阪府八尾市に日興乳業創業
- 昭和36年 9月 日興乳業株式会社を資本金100万円で法人設立
- 昭和49年 9月 資本金2,000万円に増資
- 昭和54年 5月 東京営業所開設(現:東日本事業所)
- 昭和55年 6月 広島営業所・福岡営業所(現:九州営業所)開設
- 昭和61年11月 三重上野工場建設 敷地面積1万坪 40億円投資
- 平成 元年 3月 高松営業所開設(現:四国営業所)
- 6月 メロディアン株式会社に社名変更
- 平成 2年 4月 国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
- 平成 3年 1月 環境対策委員会を発足
- 平成 4年 4月 『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
- 10月 株式会社メロディアンメンテ設立
- 11月 『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
- 12月 資本金9,800万円に増資、
- 平成 5年 3月 高山植物保護キャンペーン『高山植物いろいろプレゼント』を実施  
社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定(NOx対策)
- 5月 長野県白馬に保養所完成
- 平成 6年 6月 三重上野工場排水処理設備の増設
- 平成 7年 5月 当社社員より『日本高山植物保護協会(JAFPA)』の理事へ就任
- 平成 8年 5月 三重上野工場へ高温度焼却炉を設置(ダイオキシン対策)
- 平成10年 3月 社用車のガソリンエンジン車輦への全面切替完了と低公害車導入の決定
- 12月 三重上野工場がISO9002の認証を取得
- 平成12年 1月 ISO14001を全社一斉認証取得
- 平成13年 4月 近畿事業所・名古屋営業所(現:中部営業所)開設
- 10月 認証取得範囲を企画開発部門まで拡大しISO9001へ更新
- 11月 三重上野工場の焼却炉運転の全面停止(平成14年3月撤去)
- 平成14年 1月 三重上野工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
- 2月 三重上野工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
- 12月 三重上野工場にてHACCP認証取得
- 平成16年 4月 岡山営業所開設
- 平成17年11月 株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
- 平成18年 4月 四国営業所を岡山営業所へ統合し中四国営業所を開設

## 【事業所一覧】

本 社	〒581-0833	大阪府八尾市旭ヶ丘1丁目33番地	TEL: 072-999-3250 (代表)
東日本事業所	〒151-0053	東京都渋谷区代々木4-29-4(西新宿ミノシビル3F)	TEL: 03-5371-3637 (代表)
近畿事業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原5-1-18(新大阪サンアールセンタービル10F)	TEL: 06-6150-3277 (代表)
中部営業所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅4-2-7(丸森パークビル5F)	TEL: 052-587-5150
中四国営業所	〒700-0907	岡山県岡山市下石井1-1-3(日本生命岡山第2ビル6階)	TEL: 086-235-3826
広島営業所	〒730-0014	広島市中区上幟町11-46(エクセレント上幟202号)	TEL: 082-227-5313
九州営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1-5-18(サウス・ワン1F)	TEL: 092-474-4227
三重工場	〒518-1151	三重県伊賀市白檉2816番地6	TEL: 0595-20-2000 (代表)

## ◆ ご挨拶 ◆

私たちメロディアン株式会社および株式会社メロディアンメンテ（以下、メロディアングループ）は、豊かな食文化の創造をめざすとともに、『信頼される人間になろう』『信頼される商品を作ろう』『信頼される企業になろう』を社是に掲げて真実と信頼の企業活動に努力しております。

製品の安心・安全はもとより、企業市民として日々の企業活動を通じて環境へ与える負荷を軽減すべく設立した環境対策委員会も今年で15年目を迎えます。

設立当初より『小さな事でも出来ることを確実に実施していく。』という取り組み姿勢で、コピー用紙1枚の節減からはじめた活動を、今後も継続して参ります。

環境保全への取り組みは、原材料および各資材の省資源化、環境負荷の少ない資材の使用、エネルギーの効率化、ハイブリッド車の導入、社用車の削減など社内的なものと、全国の各事業所付近を毎月定例的に全従業員で実施するクリーンウォーキング、絶滅が懸念されている高山植物の保護を目的に活動するNPO法人日本高山植物保護協会への法人加入と外部取引業者様へのご紹介などの社外的なものまで、メロディアングループとして出来ることを確実に展開して参りました。

厳しい経営環境の中にあっても、このような活動に全社一丸となって取り組んできたことが、現在のメロディアングループとしての基礎体力に結びついているものと、従業員の皆様をはじめ関係者の皆様に感謝しております。

グループを取り巻く環境は、益々厳しさを増してきておりますが、現状を打破し更なる飛躍を実現する為にも、引き続き環境保全にも全力を挙げて取り組むことが大切であると認識をして、従業員一人一人が企業活動の様々な場面で環境負荷低減に向けた努力を継続して参ります。

この『環境のあゆみ2006』は、2005年度の取り組みとその結果を掲載しております。

メロディアングループの取り組みを知って頂くと共に、今後もより一層の充実を目指したいと思っておりますので、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2006年5月



代表取締役 社長

中西 啓詞

## 『環境のあゆみ2006』報告にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的として、2002年度（平成14年度）より一般の方々へ公開しております。

今回の「環境のあゆみ2006」の報告対象期間と対象範囲は次の通りです。

### 【報告対象期間】

2005年度（2005年4月1日～2006年3月31日）の活動内容と結果を基本としておりますが、一部報告には2006年度の計画を含んでいます。

### 【報告対象範囲】

メロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動

昨年6月発行の「環境のあゆみ2005」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケートをご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

（次回発行時期：2007年 春）

## 経営理念

### — 社 是 —

1. 信頼される人間になろう。
1. 信頼される商品を作ろう。
1. 信頼される企業になろう。

### — 基本方針 —

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにより、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

## 環境方針

### 1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

### 2. 基本方針

- 1) ISO14001 に基づく環境管理システムの構築を行い、全社員参加のもと、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連の法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

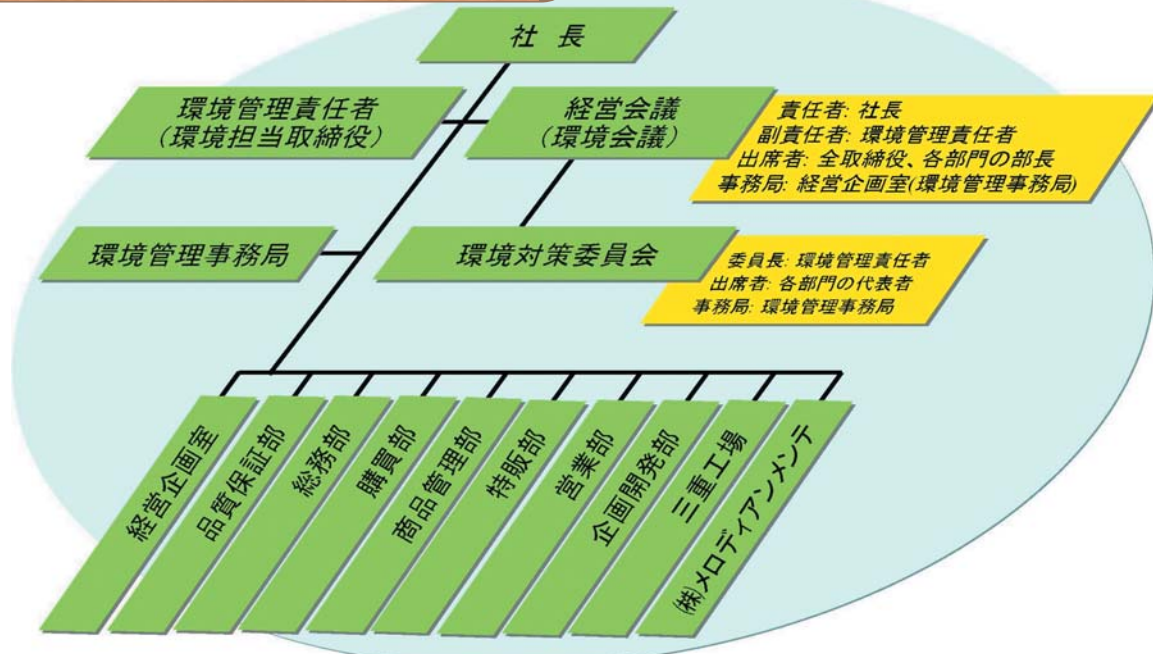
平成17年2月25日

メロディアン株式会社  
株式会社メロディアンメンテ

代表取締役社長 中西 啓詞

# 環境マネジメントシステムの概要と運用状況

## 環境マネジメントシステム組織図



毎月1回開催する経営会議へ従来の環境会議を統合し、社長と環境管理責任者である副社長をはじめ全取締役及び各部門の部長が参加して、経営方針と一体化した管理の中で、環境目標の達成状況の確認や、環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議と決定を行っています。

また、環境管理責任者が委員長を勤める環境対策委員会を設置し、経営会議へ上申する実務レベルの協議や、内部監査のための打合せなどを実施します。

## 内部監査、外部審査の実施状況

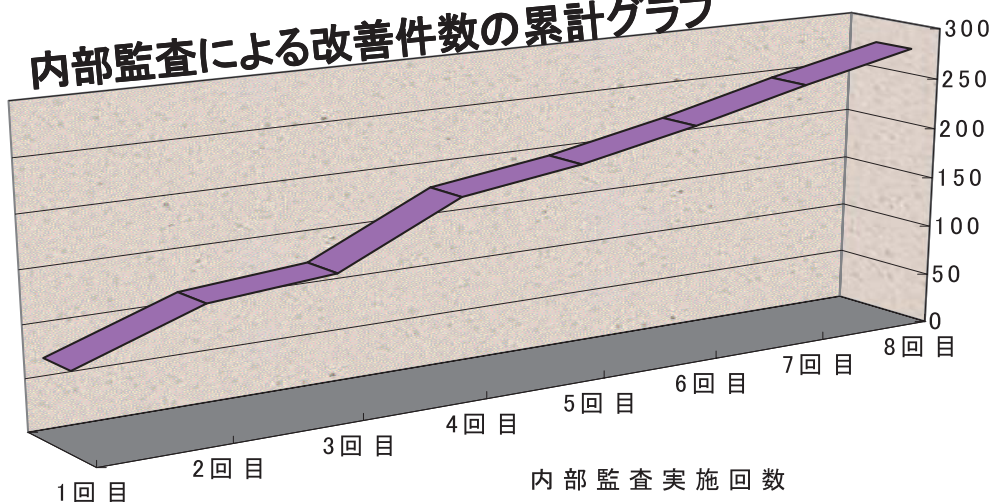
1999年10月の環境マネジメントシステム構築以降、全職場を年1回以上の頻度で実施している内部監査は、社内外の専門的な教育を受けた内部監査員によって行われます。

この内部監査によって累計で275件の改善を実施しました。

今後も継続的改善のための一つ的手段として、この内部監査を活用して参ります。

また、JAB(財団法人 日本適合性認定協会)の認定をうけた審査機関によって行われる外部審査を毎年受審することで、内部監査を含めたメロディグループの環境マネジメントシステムの有効性を客観的に評価することが出来ますので、環境マネジメントシステムのレベルアップに活かすことが出来ます。

### 内部監査による改善件数の累計グラフ



# 環境目的目標の達成状況

2005年度(2005年4月1日~2006年3月31日)の環境目標への取り組みに対する達成状況です。

【取り組み結果の評価マーク】  
 目標達成    ほぼ達成    もう少し









環境目的	2005年度の目標	取り組み結果の評価	解説
温室効果ガスデータの活用による全社エネルギーコストの削減。	データ把握方法を標準化し現状把握が出来る仕組みをつくる。		それぞれの職場で把握する基礎データを基にして、自動集計できる仕組みが出来ました。 
グリーン販促物購入比率の拡大。 	グリーン購入アイテム比率を70%にする。		対象となる販促物の作成機会が少なく、グリーン購入の比率は、あと一歩の結果となりました。
受注ミスによる追加配送の削減。	受注ミス件数20%削減する。 		受注ミスを減らすことで、無駄な追加配送の発生を抑えることが出来ました。
配送クレームによる商品廃棄量の削減。	配送クレーム発生率5%削減する。		色々な商品を取り扱う中でも輸送業者様にご協力頂きましたが、あと一歩の結果となりました。
外注クレーム件数の低減。	外注クレーム件数を10%低減する。		年度当初には大きなトラブルが発生しましたが、その後の取り組みで年間の外注クレーム発生件数は目標を大幅に達成することが出来ました。

◆ 配送クレーム削減にご協力頂いた『第3回輸送品質コミュニケーション』の様子です。◆



# 環境目的目標の達成状況



環境目的	2005年度の目標	取り組み結果の評価	解説
外部取引先様の順法状況の把握。	環境取り組みの現状調査。		関係する外注工場各社様に現状調査へご協力を頂き、全ての外注先様の確認が出来ました。
中身入りポーションの廃棄量削減。	前年度対比23%削減する。		計画に沿った取り組みにより、目標通りの廃棄量削減を図ることが出来ました。 
電力使用量データの有効活用による省エネの推進。	製品仕込み量を原単位として1%の省エネを実施する。 		季節変動はありましたが、年間の電力使用量は、目標をほぼ達成することが出来ました。
販売活動に伴う商品ロスの削減。	(営業部) 上期実績の20%削減。		上期実績に現状把握を行い、下期には、その47%を削減することができました。
	(特販部) 商品ロス26%削減。		計画的な活動によって、商品や包装資材の無駄を抑えることが出来ました。

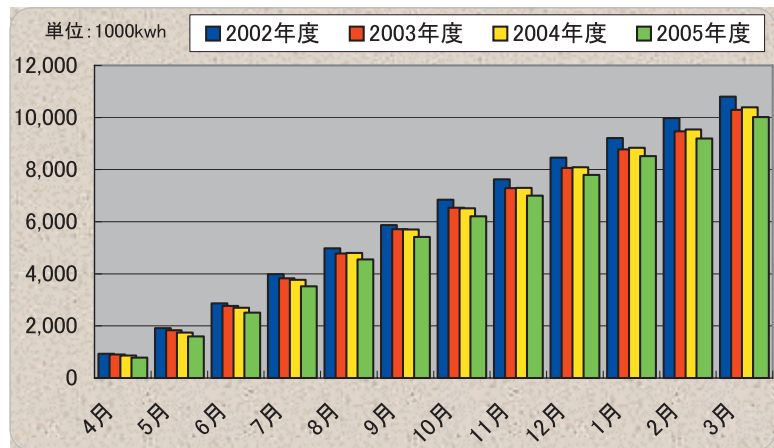


## 環境保全活動～その1～

### ◆電力消費量の推移

グラフの通り、月々の電力使用量と共に総量でも前年より少なく推移しています。

前年度と比較して、約2.5%の省エネを達成することが出来ました。



### ◆排水処理の管理状況（三重工場）

当社、三重工場の生産ラインから洗浄などによって排出される排水の管理状況は、昨年の報告以降も、下表の通り関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。

2005(H17)年4月12日には、地元伊賀市花之木地区の自治会及び水利組合の役員様並びに伊賀市上野支所生活環境課様ら行政の方々で構成される「花之木地区公害防止協議会」(14名)様に現地確認を実施頂きました。

同協議会様は地域のすべての企業に対し、定期的なご視察を行われており、当工場へは3～4年毎の頻度でお越しいただいており、「環境に関する誠実かつ積極的な取り組みに安心をいたしました。」と、ありがたいご感想を賜りました。

単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目 (基準値)	測定サンプル採取日(月/日)と測定結果											
	4/14	5/19	6/21	7/14	8/23	9/20	10/20	11/23	12/16	1/27	2/21	3/22
水素イオン濃度 (5.8～8.6)	7.60	7.50	7.60	7.20	6.80	6.80	7.50	7.20	7.60	7.00	7.10	7.10
生物化学的酸素要求量 (25以下)	3.00	3.00	2.00	1.00	2.00	4.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
化学的酸素要求量 (なし)	19.00	20.00	13.00	16.00	13.00	16.00	14.00	14.00	17.00	16.00	16.00	15.00
浮遊物質 (90以下)	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
カルキ抽出物質 (10以下)	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全窒素 (120以下)	26.00	9.50	23.00	13.00	18.00	14.00	14.00	16.00	8.70	19.00	24.00	18.00
全リン (16以下)	1.60	1.30	1.30	0.74	0.72	0.28	0.74	1.10	0.33	0.52	0.67	1.30
大腸菌群数 * (3000以下)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
鉄 (10以下)	1 2月より追加された項目です。								2.90	2.80	2.60	2.70
マンガン (10以下)	1 2月より追加された項目です。								0.05	0.06	0.00	0.00
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

\* 大腸菌群数の(-)は測定限界未満の陰性を示す。

※不定期に測定する項目の亜鉛は、2006年5月のサンプルで測定予定です。



## 環境保全活動～その2～

### ◆緊急時の対応訓練

三重工場では、作業ミスや火災及び地震などの場合を想定して緊急時への対応のための訓練を、毎年定期的実施し、万が一の場面に遭遇しても被害を最小限に抑えられるよう備えています。

- ① 火災を想定した消防訓練
- ② 排水処理設備からの汚水流出時の緊急対応訓練
- ③ A重油タンク、屋外原料タンクからの漏洩時の緊急対応訓練

自衛消防組織については、24時間体制で緊急事態に対応するため、生産ラインの3交替勤務者を中心とした組織として、毎年、火災予防週間に合わせて実務訓練を実施しています。

#### ◆消防訓練◆

連絡通報訓練、非難誘導訓練、初期消火訓練、救護訓練、屋外消火訓練を実施しています。

救護班については、定期的に普通救命講習への参加を義務付けております

#### ◆排水処理設備汚水流出防止・A重油タンクや屋外原料タンクの流出防止訓練◆

排水処理設備では、地震による排水管の破裂による漏洩、処理状態が悪化し処理できなくなった事態を想定した訓練実施を実施しています。

A重油タンクや屋外原料タンクでは、タンクローリーからの納入時の漏洩、地震によるタンクや配管からの漏洩を想定した訓練を実施しています。

(屋外消火訓練)



(救護訓練)

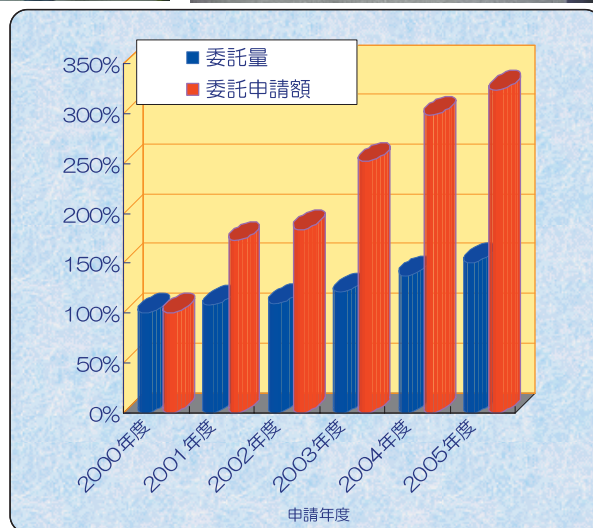
(排水処理設備の訓練)



(タンク漏洩)

### ◆容器包装リサイクル法に基づく委託実績

当社は容器包装リサイクル法に定められた「特定容器利用事業者」として、法で定められた指定法人「財団法人 日本容器包装リサイクル協会」への委託を行っており、その委託量は初年度を100とすると、右のグラフのように推移しています。



## 高山植物保護活動の支援

### ◆NPO 法人 日本高山植物保護協会を応援しています

特定非営利活動法人日本高山植物保護協会支援活動として、所属している同協会関西支部の活動に積極的に参画し、高山植物保護思想の啓蒙活動だけではなく、広く環境保護意識の啓蒙に取り組みました。《紙面の都合上一部の活動をご紹介します。》

☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆

#### 【2005 年度の主な行事】

- 春の観察山行 [赤坂山：4月30日～5月1日、参加者17名]
- 定期総会・研修会・懇親会 [ホテルサンルート梅田：5月28日、参加者60名]
- 夏の観察山行 [伊吹山：7月30日～31日、参加者34名]
- 環境学習会 [生き生き地球館、アサヒビール吹田工場：11月19日、参加者51名]

☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆・★・☆

#### 夏の観察山行～伊吹山～

7月30日から31日の行程で、初めて奥伊吹へ宿をとり、34名の参加を得て開催しました。

初日は高山植物の保護について、広間で全員車座になったの研修会は取材カメラ(※)を前に少々緊張の面持ちでスタートしましたが、徐々に活発



伊吹山

な意見交換ができ、その後の懇親会も大いに盛り上がりました。(※ ABC 朝日放送「NEWSゆう」の特集で8月16日(火)18:17放映)

2日目の観察山行当日は、今年の伊吹山も期待通り高山植物が咲き誇っており、特に山頂西斜面を埋め尽くすオオバギボウシの大群落は近年にない圧巻でした。

#### 環境学習会～生き生き地球館、アサヒビール吹田工場～

今回で第8回となる環境学習会を11月19日(土)に開催いたしました。

『楽しく学べる環境問題』をテーマに掲げ、「子供から大人まで、それぞれの視点で環境問題を学ぶ」を目的に次のような行程で募集いたしましたところ、多数のご応募を頂き、幼児から大人まで、年齢差70歳以上の幅広い年齢層の皆様にも、バス乗車定員ほぼ満席の51名ものご参加を頂くことが出来ました。

大阪市立環境学習センター「生き生き地球館」事業課長代理の朝倉則男様による講習会(約20分)では、「地球を守ろう～地球温暖化とオゾン層破壊を考える～」(大阪市作成資料)を引用して大変わかりやすくご説明頂きました。

ビール工場では20種を超える排出物が色々な物資に再生利用されていることを、実物や模型の展示物で知ることができ、午前中に学習した地球環境の問題に対して、真摯に取り組む企業を間近に実感できる良い機会となったと思います。

#### 「生き生き地球館」の講習会



## その他の取り組み

### ◆全国各事業所の周辺清掃活動

本社、三重工場、及び全国の各事業所で毎月、定期的に事業所周辺のクリーンウォーキングを実施しています。

(写真は本社と三重工場の様子です。)



### ◆製品の包装表示サイズを大きく

**保存方法**

**凍らせないで!**  
(0℃以下)

- 冷蔵庫で保存される場合、場所によっては直接風があたり、中身が凍って固まる場合がありますのでご注意ください。
- メロディアン・ミニは、無菌パック容器ですので常温で保存できます。
- 直射日光下、高温の場所(30℃以上)での保存はお避けください。
- 外袋開封後は、賞味期限にかかわらず、お早めにご使用ください。
- 保存中に、まれに分離することがありますが、品質には問題ございません。開封前に振っていただくことをおすすめします。

栄養成分表 1個(5ml)あたり	
エネルギー	13kcal
たんぱく質	0.3g
脂質	1.3g
炭水化物	0.1g
ナトリウム	12mg

名称	植物性油脂クリーミング食品
原材料名	植物油脂、砂糖、乳製品、カゼインNa、乳化剤、pH調整剤、ポリリン酸Na、セルロース、香料
内容量	250ml (5ml×50個)
賞味期限	枠外下部に記載
保存方法	枠外左側に記載
製造者	<b>メロディアン株式会社</b> MU 大阪府八尾市旭ヶ丘1丁目33

賞味期限



包材の材質



外袋:PP  
カップ:PS

外袋:ポリプロピレン  
ふた:アルミ、ペット  
カップ:ポリスチレン

ごみに出すときは市町村の区分にしたがってください。

お問い合わせ

「メロディアン株式会社 お客様相談室」  
フリーダイヤル 0120-328750  
(9:00~17:30/土・日・祝日を除く)  
ホームページ  
<http://www.melodian.co.jp>

法令基準の表示文字サイズ

一括表示 … 8ポイント  
任意表示 … 8ポイント  
栄養成分 … 8ポイント  
リサイクルマーク…6ポイント

包装デザイン担当部門では、上記の法的基準に対して、弊社ではお客様が少しでも読みとりやすい文字サイズでの表示を推進するために、限られた製品サイズの中で可能な限り大きな文字で、読みやすい表示への移行を進めています。

法令で基準が定められた表示や、お取り扱いの説明書きなどについて、より見やすく、よりわかりやすく、を基本としています。

今後もお客様により安心・安全に使って頂ける商品づくりをデザインの視点からも続けていきたいと考えています。

※左の表示例はコーヒーフレッシュメロディアン・ミニ50個入りの袋裏面表示例です。



メロディアン(株)はチーム・マイナス6%に参加しています。



この環境レポートは古紙100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。

2006年5月発行(VOL. 15)